

村政を問う

一般質問に6人登壇

一般質問とは

定例議会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり村当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴し事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

高田 清一 議員

7

- 1 通学路の整備促進を
- 2 地下道や歩道橋の建設検討を

清水 健一 議員

10

- 1 災害時の対策は
- 2 子育て応援アプリの活用状況は
- 3 祖父母手帳の配布を

南 千晴 議員

8

- 1 50歳以上も2方向からマンモグラフィ検査を
- 2 30代の女性にも超音波検査を
- 3 個別検診の拡充は
- 4 保育士の確保や処遇改善に村も力を

岩田 好雄 議員

11

- 1 イノシシ被害防止対策は
- 2 電気柵、金網柵の設置を
- 3 防衛省に要望を

松井 保夫 議員

9

- 1 8町村協定の情報提供は
- 2 不安を与える情報はダメ
- 3 防犯カメラの状況は
- 4 公約に続く施策等の情報提供は
- 5 ふるさと納税の状況は
- 6 観光とPRの状況は

松岡 稔 議員

12

- 1 ふるさと納税の返礼品（米）は
- 2 食のブランド化と6次産業の推進は
- 3 野菜の病気や害虫対策は
- 4 耕作放棄地の税負担は

※紙面の都合により、質問の内容を要約してあります。
会議録の詳細は、榛東村議会のホームページに掲載します。



11月29日開会初日

Q 子どもたちの安全確保対策を

A 学校・PTA・地域が連携し取り組み



高田清一 議員

通学路の整備促進を

問 北小、南小の通学路点検を行った結果89件の危険箇所が見受けられました。まずは安全確保のため、歩道の白線やグリーンベルト対策計画を教えてください。

答 総務課長 外側線やグリーンベルト設置を計画的に行っています。

問 PTA、教育委員会、交通安全会、学校も含めた関係者で情報交換会や共通対策を

立てるなどの計画はありですか。

答 教育委員会事務局 局長 大変必要なことと思います。情報交換会等を検討していきます。

答 村長 教育委員会、建設課等とも相談しながら、優先順位を決めやっていきます。県道に関しては

県に相談をしていきたいと思っています。

問 運転手の注意を促すため、通学路に標識などを数多く設置すべきと思いますか。どう考えますか。

答 総務課長 子どもたちの登下校の安全を守るために、引き続き設置場所を増やしていきます。

問 側溝の危険箇所が特に多いと思

います。溝蓋やグレーチング対策を立てるべきではないですか。

答 建設課長 溝蓋等については危険箇所から早期に緊急性を考慮し対応していきます。

問 その中で特に危ない場所が数十カ所あります。そのような場所には、危険箇所の表示、ポールや柵、ロープなどの暫定策も

必要ではないですか。

答 村長 本当に危険箇所と思われるところが相当あります。予算的な問題もありますが、命にはかえられませんので、早急にやっていくべきだと考えています。

問 子どもが歩く場所がないくらい、土砂や草木が出てくる場所があります。土砂排除などの道路整

備はどのように計画を立てて行っているのか教えてください。

答 建設課長 土砂流出箇所については早急に対応していきます。

答 建設課長 緊急性を考慮して検討していきます。

地下道や歩道橋の建設検討を

問 中学校校舎とグランド間の道路に地下道あるいは歩道橋建設などの安全対策を検討すべきではないですか。

答 教育委員会 地下道上の問題があり、また歩道橋に関しては、子どもたちや地域の方の横断には有効と思いますが、自転車通学者や

答 教育委員会 地下道上の問題があり、また歩道橋に関しては、子どもたちや地域の方の横断には有効と思いますが、自転車通学者や

お年寄りの横断、近隣住民のプライバシーの問題もあります。危機管理能力の育成と安全管理を推進しているところです。



子どもたちの安全を守ろう



南 千晴 議員

Q 早期発見のため乳がん検診充実を

A 自己検査の指導も進めながら検討

50歳以上も2方向からマンモグラフィ検査を

問 乳がん検診のマンモグラフィ検査は、40歳以上50歳未満は2方向から、50歳以上は1方向からです。乳がんの罹患(りっかん)率は、気にかかること率は、50歳以上も高く推移しています。年齢で限定

答 健康保険課長 専門家の意見も聞きながら、取り入れるべきかを今後検討していきます。

30代の女性にも超音波検査を

問 30代の女性も乳がんの罹患率が上昇傾向にあります。いくつかの市町村では、30代にも超音波検査を実施しています。

答 村長 検査結果や検診の事後処理等も含め、検討します。

個別検診の拡充は

問 胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がんなどの個別検診の対応は進んでいますか。

答 健康保険課長 現在、渋川地区医師会へ胃がん検診の胃カメラ検査の委託を検討しています。

問 前橋市は、40歳以上から胃カメラの個別検診を実施しています。村は、40歳

答 健康保険課長 現在、来年度の検診内容の検討中です。渋川地区医師会との関係もあるので、その点も含めて、検討をさらに進めていきたいと思っています。

保育士の確保や 処遇改善に村も力を

問 保育園では、保育士を募集しているがなかなか見つからないと聞きます。保育士が確保できない理由で育児休暇を延長し、待っている場合は待機児童には含まれません。そのような潜在的待機児童を村は把握

答 住民生活課長 保育園では受け入れ可能な範囲内で運営ができています。しかし、人材確保に苦労しており、求人や保育園相互の情報交換を行い人材確保に努めていると聞いてい

問 保育士不足が問題となっている自治体は、独自に支援制度を設けています。村はどのように考えていますか。



保育士さんが増えればお友達も入れるよ

答 住民生活課長 村としても職場の環境改善を図って、保育士が継続して働けるような支援を検討していきます。

問 「子どもを育てるなら榛東村」

答 村長 保育園に入れない状況がわかっています。たので、待機児童はいないと行ってきません。よく実態を調査します。

ます。保育士不足が問題となっている自治体は、独自に支援制度を設けています。村はどのように考えていますか。

問 保育士不足が問題となっている自治体は、独自に支援制度を設けています。村はどのように考えていますか。

答 村長 保育園に入れない状況がわかっています。たので、待機児童はいないと行ってきません。よく実態を調査します。

Q 行政の透明化（情報の提供）を

A 村民・議会に早期の提供を実施



松井保夫 議員

8町村協定の情報提供は

問

県町村会産業振興部会に所属する8町村（榛東、上野、下仁田、長野原、草津、片品、千代田、大泉）は、「災害時における相互応援に関する協定」を10月に締結しました。経費は応援側が負担するとあります

が、このように経費がかかる場合、議会への情報提供が必要ではありませんか。

答

村長 これからは、冬場に向かって雪を対象とした協定です。応援側の費用負担は、原則論です。

不安を与える情報はダメ

問

「広報しんとう」9月号に「榛東村におけるスラグ混入碎石の使用状況について」

「広報しんとう」9月号に「榛東村におけるスラグ混入碎石の使用状況について」の数値が出ています。基値以上は大丈夫なのか、村の

「広報しんとう」9月号に「榛東村におけるスラグ混入碎石の使用状況について」の数値が出ています。基値以上は大丈夫なのか、村の

防犯カメラの状況は

問

村の入口付近に「榛東村防犯カメラ作動中」という大きな看板をつけて抑止力の増大を図ってもら

答

えませんか。総務課長 看板は、現在進めています。今年度中には完了予定です。

答

建設課長 広報では、スラグの対応はどうするのかを明確に記載しないと村民に不安を与えませんか。

答

建設課長 広報では、スラグの使用場所の5箇所を明確にし、環境調査結果の数値をお知らせしました。

公約に続く

施策等の情報提供は

問

公約については、90%達成されたと思いますが、今後村民に夢を与えるために、施策等の情報を提供していただけますか。

答

村長 応援的な発言であります。が、村民の皆様の意見を聞きながら、施策を実施して行きます。

ふるさと納税の状況は

問

ふるさと納税の寄附金が5億円を超えようとする中で、今後の考え方はどうですか。

答

産業振興課長 寄附額を推測できません。難しい点がありますが、返礼品の開発も無視できません。

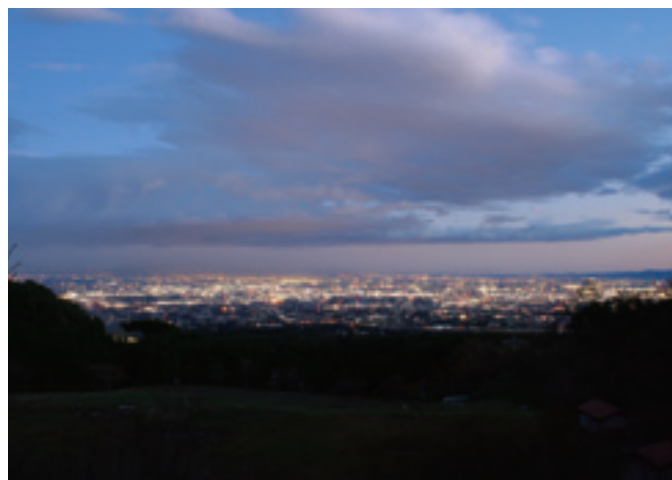
観光とPRの状況は

問

本村の観光用のビデオの作成と創造の森周辺を期間限定で、夜景スポットにするとか考えてくれませんか。

答

産業振興課長 PR効果もあると思いますので、今後検討します。



創造の森を夜景スポットに



清水健一
議員

Q 防災ガイドブックの作成を

A 作っていききたいと検討中

災害時の対策は

問 車中泊で多くの人
がエコノミー

クラス症候群の症状を
発するといわれています。
その対策として、
弾性ストッキングを備
蓄してはどうですか。

答 総務課長 血流
をスムーズにさ

せる医療用弾性ストッ
キングを備蓄するよう
に前向きに導入を考え
ていきます。

問 福祉避難所をど
のように村民に
知らせていますか。定
員は何人ですか。

答 総務課長 福祉
避難所の設置場

所はホームページの防
災計画で確認できます。
今後、村の広報等でも
周知していきます。定
員ですが、榛東村保健

相談センターが15人、
榛東村ふれあい館が30
人、榛東村福祉センタ
ーが80人と
なっています。

問 要支援者の、福
祉避難所への誘
導の方法はどうなっ
ていますか。

答 総務課長 災害
時に速やかに指
定された人が、要支援
者を避難誘導できるよ
う、具体的な避難方法
などを示した個別計画
を策定していきます。

問 災害が発生した
とき、適切な行
動がとれるように防災
ガイドブックを作成し
てもらえますか。

答 健康保険課長
昨年の11月か
ら、子育て応援アプリ
の運用を開始しまし
た。子どもにあわせて
予防接種のスケジュー
ルを自動に作成し、予
防接種日が近づくと電
子メールで知らせる機
能や予防接種実施医療
機関の検索、医療機関
の場所が表示されるよ
うになっており、地図
情報の掲載までしてあ
ります。また、村の子
育て応援アプリを使っ
てみよう

子育て応援アプリの活用状況は

問 どのような子育て
て応援事業を
行ってきましたか。



子育て応援アプリを使ってみよう

問 昔に比べ共働き
世代が増えてお
ります。子育て中は周
りの人に支えられてい
る方も多いと思われま
す。一歩頼りにするの
が祖父母であります。
子育ての常識の違いか
ら親世代と祖父母世代
で意見のすれ違いなど
があり、世代間ギャツ
プの解消のために昔と

祖父母手帳の配布を

問 今の子育ての違いなど
が書いてある、祖父母
手帳の配布を考えても
らえますか。

答 健康保険課長
妊娠届け時等に
配布するか検討してい
きます。

※スマートフォンで、時
間や場所にとらわれず、
気軽に子育て支援に関
する情報を取得できる。

Q 早急にイノシシの被害防止対策を

A 防衛省に電気柵等の設置を求める



岩田好雄 議員

イノシシ被害防止対策は

問 イノシシによる被害は全国的に拡大しており、群馬県では、住宅地や駅周辺にも出没しています。榛東村でも出没数の増加に伴い、被害が拡大しています。被害を未然に防ぐには捕獲して駆除するのが効果的ですが、どう考えていますか。

答 産業振興課長 駆除を主体に取り組み、村の猟友会に協力を得て鳥獣被害対策実施隊を設置し、被

害対策に取り組んでいきます。

問 鳥獣被害防止計画が平成24年に策定され、その中で緩衝帯を設置すると明記されています。実施されていない理由は何ですか。

答 産業振興課長 緩衝帯の整備について、研修し取り組んでいかなければならないと考えています。

問 鳥獣被害防止計画が平成24年に策定され、その中で緩衝帯を設置すると明記されています。実施されていない理由は何ですか。

答 産業振興課長 緩衝帯の整備について、研修し取り組んでいかなければならないと考えています。

ここに大量のどんぐりが実ってイノシシの餌場となりました。その結果イノシシが爆発的に増殖し、周辺や地域の農作物に被害を拡大させています。対策はありますか。

答 産業振興課長 基地の担当課を通じて自衛隊の業務隊に被害状況の記録を添付して、電気柵、金網柵、緩衝帯の整備を求めています。



イノシシによる農作物被害が拡大中

※鳥獣被害対策実施隊：被害防止計画に基づく捕獲、防護柵の設置といった実践的活動を担うもの。
※緩衝帯：農集落、農地と野生動物が生息する森林との境を明確にすることで、農作物被害や突発的な人身被害を回避するためのもの。

電気柵、金網柵の設置を

問 イノシシ被害の原因は演習場にあります。演習場周辺地域に、電気柵、金網柵の設置を防衛省に要請し、イノシシ被害を未然に防ぐのが最善の策だと思えますが、どうですか。

答 村長 被害防止のための防止柵が早急にできるような防衛省と話し合い、検討していきたいと思

防衛省に要望を

問 演習場を管理している防衛省に管理責任があります。被害防止のための電気柵、金網柵を設置して、周辺地域の経済的、人的被害を未然に防ぐ、このような施策が実施

答 村長 防衛省と話し合い、努力をしたいと思

されなければ基地と地域の共生、共存、共栄といえません。村長の考えはどうですか。



松岡 稔
議員

Q 耕作放棄地の税負担は

A 固定資産税が 1.8 倍に

問 返礼品の一つである米は、平成27年度どのくらい集めて、どのくらい出たのですか。また、残っている米はどうしますか。

答 産業振興課長 平成27年度の玄米は28・7t集めました。ふるさと納税の返礼品として14・3tを消費しています。残る14・4tは村の学校給食で消費されています。これが平成27年度の玄米の内訳です。

問 納税のお返しとして集めた米を学校給食で消費するのは趣旨が違うのではないですか。

答 村長 約半分が返礼品でした。残った米について検討したところ、やむなく学校給食で消費するものがつきました。今後このようなことがないよう精査し農家から買い上げます。

ふるさと納税の返礼品(米)は

食のブランド化と6次産業の推進は

問 村長の政策のうち6次産業化が、あります村長はこれからどうするのか考えをお聞きます。

答 村長 下仁田ねぎ、長ねぎ、ブロッコリー、チンゲン菜等、これらをどのよう

野菜の病気や害虫対策は

問 8月9月の長雨で村内でも病気が発生しました。今後の対策はどうなっていますか。

答 村長 今後も予想される問題に

ついて農家にも注意をしていきたいです。村の基幹産業は何ですか。

答 村長 基幹産業は農業だと考えています。

耕作放棄地の税負担は

問 課税強化により固定資産税の評価額の1・8倍になるその対策はどうなっていますか。

答 産業振興課長 昨年の耕作放棄地実態調査及び利用意向調査で上がったもので状態が継続して、28年度も同じ状態になった場合について、来年の1月1日現在の所有

農地は1・8倍の計算で固定資産税を求めることとなります。課税強化に対する村長の考えはどうですか。

答 村長 耕作放棄地、遊休農地をなくするのが目的であり、課税強化はやむを得ないと私は思います。



しんとう村のお米はおいしいな